

ところ会 OP 東京の名湧水 57 選の湧水を訪ねる

(矢川緑地、ママ下湧水群、常盤の清水、西府町湧水等)

記

- 日 時：令和2年3月5日（木）9時5分集合
- 集合場所：新秋津駅前
- 見学場所及び時間：コース全長 約7km
新秋津駅(9:09 発)…立川駅…西国立駅(9:35)⇒矢川緑地公園
⇒ママ下湧水群⇒くにたち郷土文化館⇒古民家・城山公園
⇒常盤の清水・谷保天満宮・梅林⇒昼食：サハラ⇒西府町湧水
⇒西府駅……立川駅…国分寺…東村山經由所沢駅（15:00 頃帰着予定）
- 交通費（所沢から）：約850円
- 昼食 サハラ（インドカレー） 042-571-2575

<https://tabelog.com/tokyo/A1325/A132503/13182725/dtlmenu/lunch/>

■散策先簡単ガイド

「東京の名湧水 57 選」に選ばれた4ヵ所の湧水（矢川緑地、ママ下湧水群、常盤の清水、西府町湧水）を中心に多摩川の河岸段丘（青柳崖線、立川崖線）に沿って流れる小川沿いを歩きます。

<矢川緑地>

矢川の流れと周辺に広がる湿地と雑木林からなる里山です。矢川は立川段丘崖の崖下から湧き出す湧水を集めて流れる幅2mほどの小さな流れですが、ミクリやヤナギモなどの湿生植物が生育し、カルガモやコサギなどの野鳥が集まってきます。

1月に撮影した写真です。

コサギ

ダイサギ

アオサギ



<ママ下湧水群>

小さな崖の事ハケとかママとか言います。国分寺崖線ではハケと言われていましたが、この湧水はママ下湧水群といわれています。先程は立川崖線にありましたがこちらは青柳崖線です。



<くにたち郷土文化館>

常設展示室及びエントランスホールにおける展示は、「過去・現在・未来を結ぶ―多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち―」という



テーマのもと、資料や解説によって、国立市域について展示しています。

国立郷土文化館とすると国立施設と間違われるので「くにたち」としているんですね。あの山口百恵さんは国立に住むキルト作家だそうで、キルト作品集が置いてあり、そこで近年の山口百恵の写真を見ました。

<常盤の清水・谷保天満宮>

谷保天満宮に常盤の清水と言われる湧水があります。谷保天満宮は野暮天の語源ともいわれますが、狂歌師の大田蜀山人が「野暮」と「谷保」を掛け、「神ならば出雲の国へゆくべきに目白で開帳やぼのてんじん」と詠んだので、谷保天神が語源ではないようです。また、谷保天満宮が江戸に出開帳をしていたという事も示しています。梅園もあるのですが3月5日ではどうでしょうか？



<昼食>

サハラ（インドカレーの店）

<西府町湧水>

崖を登って南武線の西府駅に行きますがその入口近くに湧水があります。西府駅からは立川経由で所沢に戻ります。15時頃帰着予定です。

